

2008.11.1第1082号  
ISSN 0913-0217

発行人／長 瀬 清  
発行所／北海道医師会  
〒060-8627  
札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2008  
**11**  
月号



北海道美の遺産

田中 忠雄 空の鳥を見よ

北海道立近代美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成20年11月1日 第1082号

|   |       |    |
|---|-------|----|
| 指標／道内医師派遣システムの現況  | 宮本 慎一 | 3  |
| 報告／第130回 北海道医師会臨時代議員会、平成20年 臨時総会  |       | 6  |
| 医の倫理綱領  |       | 8  |
| 報告／地域医療に関わる地域別意見交換会 (1)   | 直江寿一郎 | 9  |
| 生涯教育シリーズⅧ 認知症／11. 認知症と成年後見制度について  | 館石 宗隆 | 10 |
| 勤務医から   |       | 14 |
| 税務相談室／相続税の債務控除と葬儀費用   | 中村 孝一 | 25 |
| 随筆／医事・文談  | 天涯茫茫生 | 26 |
| 北海道医歌人会詠草   |       | 27 |
| 会員のひろば／レオナルド・ダ・ヴィンチの謎   | 近藤 浩  | 28 |
| 釧路まで  | 御園生 潤 | 30 |
| 敗戦を忘れた報い  | 竹村 敏雄 | 31 |
| 介護予防とは何だ？   | 藤田 正文 | 33 |
| 元東京国立がんセンター久留勝先生について語る  | 浜田 稔  | 33 |
| 新規指定医療機関  |       | 35 |
| 医学会・医学講演会等 開催情報   |       | 36 |
| 中央 <b>36</b> 道南 <b>43</b> 後志 <b>44</b> 日胆 <b>45</b> 空知 <b>47</b> 道北 <b>48</b> 北見 <b>50</b> 道東 <b>51</b> |       |    |
| 訃報  |       | 55 |
| その他開催情報   |       | 55 |
| 会議室／第11・13回 常任理事会   |       | 56 |
| 売貸医院・医師招聘情報   |       | 59 |
| 道医の動き   |       | 62 |
| 季節風／裁判員制度   | 榊山悠紀士 | 64 |

## お知らせ

道医報へのご投稿等について<sup>㉓</sup>

第10回 「生命を見つめる」フォトコンテスト作品募集<sup>㉔</sup>

第135回日本医学会 シンポジウム<sup>㉕</sup>／認定産業医制度 研修会一覧<sup>㉖</sup>

電子メールによる会員への情報提供<sup>㉗</sup>／グループ保険のご案内<sup>㉘</sup>

北海道医師会会員数 8,458名 (+4) うち日本医師会会員数 6,194名 (-7)

|    |             |    |             |    |           |
|----|-------------|----|-------------|----|-----------|
| A  | 2,600名 (-2) | B2 | 4,526名 (+3) | C2 | 187名 (±0) |
| B1 | 552名 (+4)   | C1 | 105名 (+1)   | C3 | 488名 (-2) |

平成20年9月30日現在 ( ) 内前月比

## 北海道美の遺産

### 作品紹介

た なか ただ お  
田 中 忠 雄 空の鳥を見よ

1903 (明治36) 年～1995 (平成7) 年

札幌生まれ。父は札幌組合基督教会 (現札幌北光教会) の初代牧師、田中兎毛。

1959 (昭和34) 年の作品。油彩、キャンバス (112.2×145.5)。

京都高等工芸学校 (現京都工芸繊維大学) の図案科に学び、東京市の技師となるが1年半で退職。湯島自由画室で出会った前田寛治に影響を受ける。

欧州への留学も経験。滞欧の成果は1932 (昭和7) 年の二科展で発表され、これを機に新美術家協会の会員となる。この頃よ

り聖歌隊など音楽をテーマとするが、この宗教的テーマは戦争によって中断され、札幌郊外での疎開生活を余儀なくされた。

1948年に東京に戻った作者は、宗教的テーマへの接近を再開した。本作には疎開先の農民や子どもを登場させ、「空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取り入れることもしない。それなのにあなたがたの天の父は彼らを養っていて下さる」というキリストの山上の垂訓の一節をオーバーラップさせている。

道庁旧本庁舎 (赤レンガ) には、クラーク博士と札幌農学校生徒の別れを描いた「島松の別離」が常時展示されている。また、この制作過程を取めたDVDが遺族によって頒布されている。

(資料提供：北海道立近代美術館)